



# 事例紹介

## BOSSシステム(交配相談)を活用しよう!

— Best Operation of Super Sire —

### ⑩農家訪問 佐藤智之牧場

前橋種雄牛センター 業務第一課長 石濱 賢



これまで、このコーナーではBOSSシステムの紹介を行ってきましたが、前号から実際にBOSSシステムを利用された牧場の事例紹介を始めました。

今回は、茨城県銚田市で30頭の搾乳牛と10頭の育成牛を飼養されている佐藤牧場を紹介いたします。銚田市は茨城県の中央部に位置し、鹿島灘に面した平坦な地域にあり、メロンやイチゴなどの果実やトマトなどの野菜の生産において、全国でも有数な産地として知られています。

佐藤牧場は家族経営で、永らくひので酪農業協同組合の指導部の下で経営改善に努められてきました。佐藤さんは検定成績表をきちんとファイルして保存されていましたが、訪問を始めた頃は成績を十分活用されている状況にはないようでした。その一方で、牛群全体の乳量を増やし経営改善を図りたいと目標を明確に定められていました。しかし、何から手を付け始めればよいか思案されている、という状況でした。その中で、経営改善に必要なことの一つとして、1頭1頭の改良の重要性を強く感じていたところ、個体ごとの改良目的にあう種雄牛を選定するBOSSシステムに興味を抱かれ、利用を始められました。

BOSSシステムの利用を始めた当初は、ご自身が気に入った雌牛の交配結果を優先的にご覧になっていた

ようです。その後、他の雌牛についての検索結果についても興味を持たれ、結果シートを見ることを楽しみにされていたとのことでした。

結果シートをお届けした際、シートに記載されている内容の解説を行いました。また、併せて牛群検定から得られる改良情報についても解説を加えさせていただき、牛群検定での評価についてもご理解をいただき、牛評の利用に取り組み始められました。



佐藤智之氏

所有されている牛への改良にBOSSシステムでの選定結果を利用され始めると、すべての未経産牛のデータも確認したくなられ、牛群検定の未経産加入を積極的に行われて未登録牛の父牛も毎月報告するようになってきました。

その結果、ほぼ全頭のデータが活用できるようになりました。

こうしたやりとりを経て、牛群へのBOSSシステム選定種雄牛を交配した際の改良予測をご覧いただき、佐藤氏が目標とされた改良方針に沿った種雄牛が選択されました。今日では、BOSSシステムで選択された種雄牛精液で人工授精が行われています。

現在は、後継者である息子さんのためにも、改良情報を駆使し、能力の高い検定牛には積極的にSort<sup>90</sup>（性選別精液）を利用して優良後継牛確保に取り組まれています。

ます。ゆくゆくは、ほとんどの高能力牛に対してSort<sup>90</sup>を使いたいと考えているそうです。

システムを利用され始めてから約3年が経過したところですが、改良情報をもとにした牛群全体の選抜淘汰が進んできたことは、BOSSシステムの総括表からも見受けることができます。

その結果、牛群での総合指数（NTP）と産乳成分がプラスに転じていること、さらには生まれた子牛の牛評が高く変わってきたことを数値で確認できるようになったことを、BOSSシステムを利用いただいた効果として満足されているようです。

これからは、BOSSシステムにより生産した産子が授精時期となってきたので、未経産牛への交配牛選定にBOSSシステムを活用し、改良をさらに進めたいとおっしゃっていました。

## 教えて BOSS（BOSS開発プロジェクトチーム）

検定成績表を拝見すると、今まさに新旧交代を準備しているところ、BOSSによる娘達が続々と泌乳開始していく準備段階にあることがわかります。さて、BOSSによる娘達が泌乳開始しましたら、飼養管理や衛生管理にも力を入れてみてください。飼養管理では、取りあえずはカルシウムの増給を検討してみてください。地域の指導のご担当者や飼料会社さんに相談するのも良いでしょう。また、衛生的な搾乳により体細胞数の削減についても取り組まれば良いでしょう。BOSSにより遺伝改良と、検定成績表による飼養管理改善の2つが上手に連携すれば、鬼に金棒です。

### 補足）未経産加入

本文中でも触れていますが、佐藤さんが取り組んでおられる牛群検定の未経産加入は、改良上で特筆すべき良いところですよ。遺伝的改良を考えたとき、最も効率が良く、高い遺伝改良が期待できるのは若い牛すなわち未経産牛だからです。BOSSシステムを利用すれば、F1などの肉用肥育素牛の生産と、乳用後継牛の生産を最も合理的に使い分けることが出来、優秀な後継牛を作出しながら、肉用肥育素牛を生産することが出来ます。

また、未経産牛については難産を心配される方もいますが、BOSSシステムでは、難産をさける種雄牛により乳用後継牛を生産できます。